教育研究業績書

2026年11月09日

所属： 薬学科　　資格： 助教　　氏名： 仁木　亜弥

研究分野	研究内容のキーワード
有機化学	RCATHを用いた医薬品の合成
学位	最終学歴
修士（薬科学）	武庫女子大学大学院 薬学研究科 薬科学専攻 修士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1.β位に官能基を有するセレニド化合物の合成および酸化反応の検討	単	2017年3月	武庫川女子大学大学院 薬学研究科 薬科学専攻修士課程 学位論文	セレノキシド脱離に関する新たな知見を得るためにβ位にヒドロキシ基またはフェニルチオ基を有するセレニドを合成し、その酸化・脱離反応の検討を行った。
2.Bisselenide化合物の酸化反応の検討	単	2015年3月	武庫川女子大学薬学部卒業論文	反応基質として飽和炭化水素鎖を用いたビスセレニドを合成し、その脱離反応について検討を行った.
3 学術論文				
1.A highly regio- and stereoselective selenoxide elimination of 1,2-bis[4-(trimethylsilyl) phenylseleno] alkanes to give (E)-alkenyl selenoxides and its mechanistic study	共	2016年	ChemistrySelect, 2, 189-194	In this study, the selective elimination of selenoxide from 1,2-bis[4-(trimethylsilyl)phenylseleno]alkanes resulted in the exclusive formation of (E)-alkenyl selenoxides via a 1,2-bisselenoxide intermediate. The oxidation of 1,2-bis[4-(trimethylsilyl) phenylseleno]alkanes with one equivalent of metachloroperoxybenzoic acid resulted in the non-selective formation of several arylseleno alkene derivatives, and it was subsequently shown that the elimination of the corresponding 1,2-bisselenoxide proceeds with high regio- and stereoselectivity. Mechanistic investigations for this unique elimination have been performed with 77Se NMR experiments and computational studies. Asami Tarao, Aya Niki, Shinsuke Komagawa, KenjiArimitsu, Hitomi Uchimoto, Ikuo Kawasaki, Kentaro Yamaguchi, and Kiyoharu Nishide
その他				
1．学会ゲストスピーカー				
2．学会発表				

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
1.β位に官能基を有するセレニド化合物の合成および酸化反応の検討	共	2016年10月	第66回 日本薬学会近畿支部総会・大会	β位に置換基を持つセレノキシドの脱離による生成物は、その置換基の性質に依存していることが知られている。今回我々は、セレノキシド脱離に関する新たな知見を得るためにβ位に官能基を有するセレニドの合成とその酸化・脱離反応の検討を行った。 仁木亜弥，駒川晋輔，萬代　咲，四方　茜，内本ひとみ，繁田　尭，有光健治，山口健太郎，川崎郁勇
2.A highly regio- and stereoselective selenoxide elimination of 1,2-bis[4-(trimethylsilyl)phenylseleno]alkanes to give (E)-alkenyl selenoxides and its mechanistic study	共	2016年5月	The 13th International Conference on the Chemistry of Selenium and Tellurium	In this study, we envisioned to develop a novelselective elimination of selenoxide by the oxidation of 1,2-bis[4-(trimethylsilyl)phenylseleno]alkanes. Selenoxide elimination was subsequently examined by oxidizing these alkanes with twoequivalents of meta-chloroperbenzoic acid (mCPBA) Asami Tarao, Aya Niki, Shinsuke Komagawa, KenjiArimitsu, Hitomi Uchimoto, Ikuo Kawasaki, Kentaro Yamaguchi and Kiyoharu Nishide
3.1,2-ビスセレノアルカンを用いた位置および立体選択的脱離反応とその計算化学的考察	共	2016年3月	日本薬学会 第136年会	β位に官能基を有する2置換のセレノキシドの脱離による生成物は，その置換基や基質の性質に大きく依存していることが知られている．今回我々は，セレノキシド脱離に関する新たな知見を得るために，β位に官能基を有するセレニドの合成とその酸化・脱離反応について検討を行った． 多羅尾 あさみ，仁木 亜弥，駒川 晋輔，萬代 咲，有光 健治，内本 ひとみ，川崎 郁勇，山口 健太郎,西出 喜代治
３．総説				
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
６．研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等	
年月日	事項